

平成23年度第1回中野市豊田地域審議会会議録

開催日時および会場 平成23年5月24日（火）午前10時～11時40分
中野市豊田支所2階大会議室

出席委員および欠席委員氏名

出席委員 ・外谷辰之・林紘一・高橋剛太朗・西野三恵子・神田一枝
・西野薫・西澤隆雄・小林登美子・北山和夫・清野竹子・小林日出夫
・佐藤秀彦・大内ふじ子

欠席委員 ・山口光左・宮沢賢明

出席職員等 ・市長・副市長・総務部長・健康福祉部長・子ども部長
・くらしと文化部長・経済部長・建設水道部長・消防部長
・議会事務局長・教育次長・会計管理者
・豊田支所長・地域振興課長・地域振興課長補佐兼総務係長
・地域振興課長補佐兼振興係長

議題および議事の顛末

1 開 会 【豊田支所長】

2 市長あいさつ 【中野市長】

3 協議事項

○豊田支所長： 地域審議会の設置に関する協議書第7条第4項の規定によりまして、「会議の議長は、会長がこれに当たる」となっておりますが、正副会長が決まっておりませんので、正副会長が選出されるまでの間、招集者である市長の進行で会議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、市長さんお願いいたします。

（1）正副会長の選出について

○市長： それでは、正副会長につきましては、協議書第6条の規定により委員の互選で定めるとなっております。どのようにしたらよいでしょうか。

○委員： 前回もそうでございますけれども、豊田地域区長会の会長さんがなっておられます。区長会長さんに会長をやってもらえればと思います。よろしくをお願いします。

○市長： 豊田地域区長会長さんにやってもらいたいという意見ですけれども。

○委員： 皆様方もご存じのように、地域審議会委員の任期は2年です。豊田地域区長会の役員任期は1年ですので、来年、再度会長の選出をするようになりますので、任期2年の委員さんにやっていただければと思います。よろしくをお願いします。

○市長： 委員さんの中で決める訳ですから、いろんな意見が出ていいと思います。

○委員： いきなりこういう話しになってしまいましたが、方法論として今市長さんがお諮りになったと思うのだけれども、水かけ論をしていても決まらないので、別席を設けた中で、選考委員と事務局を加えて検討していただければ良い結果が出るのではないかと思いますので提案します。

○市長： 委員さんの意見ですけれども、それでよろしいですか。
(拍手)

それでは、1号委員から高橋剛太郎さん、西野薫さん、2号委員から小林日出夫さんの3人の選考委員により、正副会長を決めてもらえれば私も一番良いのかなと思っていますのでよろしくお願いいたします。また、事務局1人がオブザーバーとして入ります。それでは、暫時休憩とします。

【休憩】

○市長： それでは、会議を再開します。選考委員代表の方から選考結果の報告をお願いします。

○委員： 慎重審議の結果、会長に佐藤秀彦委員、副会長に西野三恵子委員にお願いしたいと思います。

○市長： いま選考委員長さんから、会長に佐藤秀彦さん、副会長に西野三恵子さんを選考していただきました。皆さん拍手でご確認をお願いします。

(拍手)

ありがとうございました。それでは、会長さん、副会長さん、それぞれ着席いただき、進行よろしくをお願いします。

私はこれで、降ろさせていただきます。ありがとうございました。

【会長、副会長着席】

・会長あいさつ

○会長 長： ただ今ご指名いただきまして非常に戸惑っていますが、会長を務めさせていただきますしたいと思います。よろしくお願いします。

この審議会は、今までの委員さん方が大変ご苦労されながら6年が経過し、残すところあと4年となりましたが、ますます盛会に行えるように理事者の皆さん、委員の皆さんにこれから一層のご協力をいただきながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

・副会長あいさつ

○副会長 員： 副会長に選考されました西野三恵子です。副会長ということで戸惑っていますが、豊田地域が少しでも住みやすくなれるように、皆さんと一生懸命活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 中野市豊田地域審議会の設置経過等について

○議長 長： それでは、会議次第にあります協議事項(2)「中野市豊田地域審議会の設置経過等について」事務局から説明をお願いします。

○地域振興課長： (資料1について説明)

○議長 長： ありがとうございます。ここでお願いがございます。

まず、1点でございますが、今後の会議につきましては、限られた時間内で進めていきたいと思っておりますので、発言は簡潔に明確にお願いします。

2点目ですが、会議録作成の関係上、発言される場合には、お名前の方に発言されますようお願いいたします。

ただいま、事務局から「中野市豊田地域審議会設置経過等」についての説明がございましたが、質問、意見あればお願いしたいと思います。

(なし)

それでは、次に進めさせていただきますと思います。

(3) 「豊田地域の振興に関する意見書」に対する回答の進捗状況等について

○議長 長： (3) 豊田地域の振興に関する意見書に対する回答の進捗状況について、関係部署から説明をお願いしたいと思います。

なお、第1の総論につきましては、日々の行政運営の中で対応していただいていると思っておりますので、第2地域資源の活用と産業振興策の推進より説明していただきたいと思っております。

○経済部長： 所管は農政課でございます。農産物の地産地消の推進として、大豆、そば等の品目でモデル事業を取り組みます。また、信州の伝統野菜ぼたんこしょうを使用した加工品の商品化に向けた試作や勉強会を実施しています。観光農園の開設、農産物直売所の開設等については、市農政課にご相談いただきたいと思います。また、赤坂農村公園、ドッグラン等も地域の資源として活用をお願いしたいと思います。

次の項目ですが、現在、豊田地域における農業者の高齢化対策、荒廃農地対策の一環として「中山間地域直接支払制度」が協定数で11、受益面積45.6ha余りで活動されております。この制度は、平成22年度から5年間継続して共同取組活動をするもので、昨年度新たに協定していただいたものでございます。今年度においても、必要に応じて情報提供・交換してまいります。

また、中山間地域直接支払制度の対象とならない区域については、現在上今井地区で取り組んでいる農地・水・環境保全向上対策事業を他地区でも積極的に活用していただくため、平成24年度新規採択に向けて説明会を実施したいと考えております。

この他、中野市産業公社の農作業支援者紹介事業・機械作業受託作業などの活用を図っていただきたいと思います。

集落営農組織については、古川地籍で新しい営農組織により小麦の栽培を始めました。その他の区域でも組織化を支援していきたいと考えております。

後継者育成については、JA北信州みゆき、市農業経営改善支援センター等と連携しながら、市の新規就農者支援事業、北信州農業道場を活用していきたいと考えています。

また、地域によって農業者の農業に対する意識など相違するものと思われることから、今後各地域において意見交換など行い、農業に対する意識の向上を図りたいと考えています。

(3) 有害鳥獣の関係ですが、電気柵設置に対する助成については、国の補助金交付要綱に基づき、原則3戸以上を補助対象としておりますが、これは効率的な設置を行うためのものであります。農家の皆さんへは、3戸以上となるようお願いしているところですが、地理的条件や、周辺園地の状況により、3戸以上となるのが困難な場合には、市の単独事業で助成を実施しています。

オリの設置等につきましては、狩猟免許が必要となるため、猟友会と協議のうえ、設置することとなります。また、平成23年度から豊田地域と中野地域の駆除協議会が合併したことから、オリの増強については、より拡充した対応が図られるものと考えています。以上でございます。

○議 長： ありがとうございます。それでは、次お願いします。

○くらしと文化部長： それでは、4ページをお願いしたいと思います。

第3ふるさとの自然環境の保全でございますけれども、(1)といたしまして、1点は千曲川兩岸の産廃処理事業者への指導について、もう1点は、飯綱町における産廃処理施設についてということで2件ご意見をいただいております。担当課につきましては、環境課でございます。

まず、千曲川兩岸の産廃処理事業者でございますが、民間事業者3社でございます。この事業者への指導につきましては、県と連携して対応しているところでございますけれども、地元区、豊津地域の皆さん、それから長丘地域のそれぞれの各区の皆さん、それから関係業者と市と県と毎年会議を開きまして進めてきており、本年2月24日にこの連絡会を開催いたしました。その中では特に問題はございませんでした。今後も継続していきたいと考えております。

もう1件でございますが、飯綱町における産廃処理施設についてでございますけれども、場所につきましては、上信越自動車道の第2永江トンネルと三水トンネルとの間の沢の部分でございます。この沢の水でございますが、南永江の南を通りまして最終的に斑尾川に流れ込んでおります。そういった位置に産廃処理施設を造るという計画が平成19年の5月ごろ持ち上がりまして、その後2つの業者が計画を進めているということでございますけれども、平成21年10月以降特に目立った動きがありません。先日も飯綱町に情報を確認いたしましたけれども、現在でも動きがないということでございまして、今後も情報交換を継続するとともに、必要に応じては豊田地域の皆様に情報提供をしてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

○議 長： ありがとうございます。質問については、全部終わってからお願いしたいと思います。続けて説明をお願いします。

○経済部長： 次に斑尾山麓に市民が森林浴を楽しめる遊歩道やトレッキングコースの整備を図りたい。についてでございます。平成6年から7年度にかけて、生活環境保全林整備事業で整備された斑尾山麓の遊歩道等については、経年劣化等により荒廃している状況であったため、平成22年度緊急雇用創出事業で豊田地域内遊歩道整備を実施しました。23年度においても同事業を活用して、引き続き整備を図る予定でございます。

危険箇所の点検見回りに併せ、遊歩道の草刈り・修繕・倒木の除去等を行い、遊歩道としての機能保全を図ると共に、近接の「斑尾高原体験交流施設」や「信越トレイル」と連携を持たせ、観光資源として有効活用出来るよう検討してまいります。

○建設水道部長： 5ページをお願いします。

(1)としまして、国・県道の関係でございます。要望があります、国・県道につきましては、同盟会等々一緒になりまして国、県に要望しているところでございます。

具体的には、現在国道117号バイパス、豊田飯山インターから替佐間、事業施工しています。これにつきましては、豊田飯山インターから入る所、一部地権者の反対がございまして、北信建設事務所の方に強く要望しているところでございますが、地元の皆さんにもご協力願いたいと思います。

三水中野線につきましては、現在、上今井橋を渡ったところの栗林側で拡幅の事業を施工しているところでございます。

豊田中野線につきましては、現在工事の真最中でございまして、橋を架ける手前の方まで道路型はできているところでございます。

また、一般県道牟礼永江線につきましては、両方から開いているのですが、一部これも地権者の了解が得られない部分があります。これも北信建設事務所の方に強く要望しているところでございます。

次に(2)でございます。千曲川の関係、堤防の関係でございます。これも、国・県の道路と同じように同盟会と一緒にしまして、国、県の方に要望しているところでございます。替佐築堤につきましては、現在一部出来ていないところがございしますが、これにつきましては、国の方に早急に対応していただけるようお願いしているところでございます。

また、飯山線のボックスにつきましては一応形は出来ておりますけれども、協定等を結びまして今年度中に何とか、ボックスの位置を移動した道路を完成したいと考えております。

また、笠倉築堤につきましては、現在、樋門一つ出来ましたが、これから埋蔵文化財等の調査を進めまして、早いうちの完成をお願いしているところでございます。以上でございます。

○議長： それでは、次をお願いします。

○総務部長： それでは、6ページをお願いします。(3)でございますが、若者定住、人口維持ということでございますが、平成19年度から県が主催しまして、県下37市町村が加盟します、「楽園信州」推進協議会に加入しまして、移住、観光、農業体験等の交流促進に努めているところでございます。また、ホームページによる空き家の物件の紹介、それから仕事情報の提供等の情報発信、それから、県外、東京、名古屋中心ですが、相談会、セミナーの開催、そして中野市のパンフレットの配布等を行っております。

それから、市単独事業としまして首都圏、関西在住の中野出身者が加盟しております、ふるさと信州中野会の会員の皆さん等を対象に中野市に来ていただく、ふるさと回帰促進事業を実施してございまして、改めて中野市

の良さを知っていただくということで中野市のPRに努めております。

次に（４）の関係ですが、JR上今井駅の駐車場整備ということでございますが、平成20年度に中野市地域公共交通総合連携計画を策定いたしました。JR飯山線につきましては、広域的公共交通骨格軸として位置付けておりまして、替佐駅は路線バスの運行を踏まえまして、鉄道とバスの結節拠点駅として位置づけをしております。基幹バス路線の永田線は一部永田発着でございましたが、平成21年11月から全便親川発着としまして、平成22年10月には替佐駅でのJR飯山線との接続を最優先にダイヤを見直したところです。

ふれあいバスにつきましては、路線バス永田線へ接続させ、JR替佐駅を経由できるよう利用促進に努めております。替佐駅周辺には、すでに民間会社と替佐区が所有しております駐車場があります。新たな駐車場の整備等は考えていないところでございます。

JR上今井駅につきましては、公共交通への利用促進として、自宅から駅まで自動車を利用し、鉄道に乗換えて目的地まで向うというシステム、パークアンドレールとして、駐車場を整備したところでございます。以上ですがよろしくお願いたします。

○議 長： ありがとうございます。次お願いたします。

○建設水道部長： それでは、土浮地籍の排水についてでございます。これにつきましては、平成21年度に雨水排水現況調査を実施いたしまして、平成22年度雨水排水処理計画（案）を作成しております。これによりまして、関係者と協議して、これから実際の改修をどのように進めていくかということ、現在検討しているところでございます。つい先日も、こちらの役員さんの方へお邪魔いたしまして、現場調査の時もこれからよろしくお願いたしますということで、検討をさらに進めていきたいということでございます。以上でございます。

○議 長： 次お願いたします。

○健康福祉部長： それでは、7ページの第5教育・福祉の地域づくりの（１）の関係でございますが、若者の結婚問題について、社会福祉協議会その他協力団体と連携して、多くの若者が結婚に至ることができるような施策を検討し推進されたい。ということでございますが、市では社会福祉協議会の協力をいただいで進めておりますけれども、具体的には、回答に記載しましたとおり、まず一つは、結婚相談ということで結婚相談員を委嘱させていただきまして、それぞれ相談に応じていただいでおります。また社会福祉協議会の事務局でも相談の受け付けをしております。平成22年度は11件の相

談がございました。

もう一つは、参加型交流イベントということで、年3回になりますが、夏のキャンプ、クリスマスパーティー、ホワイトスノーパーティーということで交流型形式のパーティーを開催し、出会いの創出等を行っております。最近参加者が増えてまいりまして、大体30名の定員が数日で埋まってしまうというような状況でございまして、今後とも進めてまいりたいと考えております。

○議 長： ありがとうございます。次お願いします。

○教育次長： (2)ですが、小中学校の再編については、学校が地域における主要施設であり、心の拠り所になっている現状を踏まえ、地域住民の意思を尊重し、均衡ある発展に配慮されたい。でございますが、教育委員会では、昨年平成22年度から中学校区単位で市民教育懇話会を開催しております。多くの皆さんからご意見をいただいたところですが、本年度も引き続き、懇話会を開催して意見をお聞きする場を設けていきたいというふうに考えておりますが、よろしく願いいたします。以上です。

○議 長： 以上で、豊田地域の振興に関する意見書に対する回答の進捗状況について、それぞれ担当から説明がありましたが、これについて皆さんの方から、ご質問やご意見がありましたら、お出しいただきたいと思います。

○委員： ●●です。よろしく願いいたします。

何点かあるのですが、以前もちょっとお話ししたことがあるのですがけれども、国道117号がバイパス化されまして、今度は支所の前を通るようになるのですが、もし、そうした場合、交通量の変化とかそこらへのデータがありましたら教えていただきたいと思います。

それと、それに付随しまして冬の間の117号の現在のスタンドの前あたり、あそこらへの歩道の整備がされたのですが、冬になると除雪のできない状態で、そこを通る人が非常に道路を歩かなければいけないというような状態がありまして、そこへ117号の今度交通量の増えた状態になれば、事故等非常に懸念されることがあります。歩道も恐らくスタンドのあたり整備されているもので、それから先も歩道の整備がされて除雪のできるような状態になるのかということをお聞きしたいと思います。

もう一つ、ふるさと回帰についてなのですが、色んな交流促進をされているようなのですが、どんな感触であるか、かなりのお話し説明を聞く方がいるのかどうかということをお聞きしたいと思います。

○議 長： 最初に、道路河川課ということでお願いします。

○建設水道部長： まず、国道 117 号バイパスの交通量のデータの関係についてですが、いま手元にございませんで、ご容赦願います。

それと、117 号の除雪の関係ですが、ガソリンスタンドの歩道の狭いところから上今井橋までの辺ということで理解してよろしいでしょうか。(はい) あそこの所につきましても、私どもは県管理のものですから、北信建設事務所の方に長い目で見ると、歩道整備をお願いしているのです。短い目で見ますと、短期間ですと、とにかく除雪が上手くできないかなということで相談を申し上げて、こちらからも要望を続けているのですけれども、歩道自体が一つ段上になっているので、除雪自体機械が入らない状態ですから、根本的に直さなければなりませんので、今後とも安全になるように県の方に要望したいと考えております。以上でございます。

○総務部長： ふるさと回帰について、話しを聞くかどうかという質問につきましては、県の楽園信州の推進協議会に加入いたしまして、その中の一つとして中野市が加入させていただいて、その時に中野市の PR をしているということで、かなりの人数が来られているということでございます。

それと、中野市から情報発信をすると中野市を PR するというので、今回も中野のバラまつりがあるわけでありまして、中野市のイメージアップを図るということで、このことについても情報発信するというので努めております。それから、住んでいただくためには住みやすい街ということでならないと思いますので、例えば、子育て、高齢者福祉とかそういう面での政策についても努めております。以上です。よろしくお願いいたします。

○議 長： ●●委員さんどうぞ。

○委 員： ありがとうございます。

歩道につきましては、上今井の信号からあの城下団地があるのですが、昔から小学校へ通う子供が歩道の一切ないところを通ってくるような子供達もいます。ここらへんも更に考慮してもらえようようにしてほしいと思います。ありがとうございます。

○議 長： 他にご質問、ご意見ありませんでしょうか。

○委 員： ●●です。よろしくお願いいたします。2、3点お願いしたいかと思ひます。

1点目には、5 ページの道路河川課 (2) の千曲川の無堤笠倉、上今井地区とあります。千曲川大雨で増水いたしますと、非常にあの千曲川恵みもあるのですが、また洪水の時には非常に上今井といたしましても苦慮

しているところでございます。そういう中で、先ほど話しの説明にありましたけれど、千曲川河川事務所、国土交通省の方へお願いをしてあるというお話しでございますので、なお一層一つ努力していただきたいとこんなふうに思っておるところでございます。よろしく願いいたします。

それから、6ページの道路河川課で雨水の話しがございましたけれど、今回、先月の中野市の広報にも載っておりますけれども、公共下水道の区域と特定環境区域という中でありまして、農集の方は対象に現在になっておりません。と思うのですけれど、その辺のところであれば、公平、平等ということをお願いをしたいかと思っております。

それから、先ほど●●委員さんの方からもお話しがございましたけれど、国道117号線の歩道でありますけれども、長野からずっと栄村等々見ても国道は、ほとんどバリアフリーでございます。歩道がああいうふうになっているところは全くございません。そういう中で、先ほど話しがございましたけれども、通学路それから除雪そういう体制におきまして、できうれば歩道を、今現在の歩道ではちょっと2mはあるというような道路がございます。これを右なり左なりに一カ所に片方にいたしまして、東側でも西側でもいいですけれどもいたしまして、3m50から4mというようなふうにしますと、除雪の体制もいいし、それから子供たち大人も歩道を通るにも具合がいいかなと思っておりますので、国道の方へ強く要望していただきたいと、こんな風に思っているのです。よろしく願いいたします。

それから、もう1点、ちょっとこれと違うのですがいいですかね。上今井の川東にございますけれども、あそこに、今はよく分からないのですが、前に●●●●さんが大きな倉庫というか、資材置場があった訳です。いま現在その所が私が見た目ではゴミがかなり山積していると、この間も見ましたが前よりも2カ月前位よりも大分増えているとこのように思います。ぜひ環境の面、それからいろんな面におきまして、特に千曲川が増水した時に、あの廃棄物と言っているのかどうか分からないけれど、私の目ではそのように見えるのですけれど、そういう中で畑なり、それから入っては非常に困るという中で、業者の方へ対応していただきたいとこのように思います。よろしく願いいたします。

○議長 長： 回答はいいのかな。

○委員 員： 回答をお願いします。

○建設水道部長： まず、千曲川の件でございますけれども、これは継続して強力で国の方に要望してまいりたいと思います。

2番目につきましては、私の理解では雨水の貯留槽の話でよろしいのでしょうか。平成18年から中野市内の一部で補助を始めまして、22年

から公共下水道と特環に範囲を拡大しまして、これにつきましても効果があると考えられますので、これから拡大については検討していきたいと考えております。

それと、117号の歩道の件先ほどの●●委員さんと同じ件だと思えますけれども、これにつきましても先ほどお答え申し上げましたとおり、県の方に強力に要望してまいりたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

○議 長： その他の、●●●●については。

○くらしと文化部長： ●●●●という事ではありますが、●●●●●●という会社のことだろうと思えますが、以前にもご意見いただきまして、経営者の方に指導させていただきまして。その際は、片付けますということで返事をいただきましたけれども、その後再三に渡って指導しておりますが、今年の5月10日頃からですね、社長と連絡が取れない状況に現在なっております。地主さん等を通じまして引き続き連絡を取るようにはしておりますけれども、そのような状況であるという事をお伝え申し上げます。よろしく願いいたします。

○委 員： ありがとうございます。そういう中で、環境とかそういう意味でおきまして、特に少し遠くの人たちはどうしてもゴミがありますと、ゴミを捨てるという感覚になってしまうのでひとつ、梅雨の時期、台風のシーズン来ますので、大至急片付けていただきたいと思えます。ありがとうございます。

○議 長： 他にご意見、ご質問ありますか。はい、●●さん。

○委 員： ●●です。お願いします。ただいま各担当の方の説明ありがとうございました。その中で、2ページの地産地消の関係ですけれど、学校給食の関係につきましましては、約70%近くを地産地消ということで取り組んでいたことに対して、厚くお礼申し上げたいと思えます。今後とも益々上手く行くように、ご努力の方をお願いしたいと思えます。

モデル事業を取り組みますというふうに書いてあるのですが、もし、このモデル事業の計画がありましたら教えていただきたいと思えます。それが1点。

次7ページの方ですけれど、福祉関係のところでございますけれども、年々こういう担当の方でイベント開催をいろいろ工夫されてきて参加者が年々増えてきたということは嬉しい事でありまして、これからも益々いろいろ創意工夫しながら参加者が増えてきてほしいと思えます。ご努力

の方を是非お願いしたいかと思っておりますけど、よろしくお願ひいたします。
以上です。

○議 長： では、1番のモデル事業の概要もしくははのところからお願いいたします。

○経済部長： お答え申し上げます。

ソバ、大豆のモデル事業ですが、なかなかソバも大豆もたくさん作っても儲からない商品でありますけれども、遊休荒廃農地には比較的対応できる産品ということと、地元の物を使いたいといういわゆる観光業者の皆さんもいらっしゃるので、市では生産者と加工業者のマッチングというか出合いを作りまして、そこで契約栽培をしていただいた方に対してキロ当たりいくらというような補助金を出していきたいとそういうふうを考えております。それで、ソバについては特定の業者さんになってしまうのですが、買い取っていいというふうに言ってらっしゃる方がいらっしゃいます。それから大豆については、市内の味噌とかそういう加工業者の方を募集しまして、これから6月の広報で具体的な内容を公表させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

地産地消の方は、引き続き進めてまいります。できれば、これからまた小麦粉とか古川の跡地で作っています小麦粉とか、それから米粉についても、いま学校給食センターと相談を進めております。以上です。

○議 長： はい、●●さん。

○委員： どうもありがとうございました。よろしくお願ひいたします

○議 長： 他にご意見ご質問ございませんか。よろしいですか。それでは、次へ進めさせていただきます。

(4) 平成23年度の市の主な事業について

○議 長： それでは、平成23年度の市の主な事業についての説明をお願いしたいと思います。

○地域振興課長： (資料3により説明)

○議 長： ありがとうございました。23年度の主な事業の説明の豊田地域の関連の部分について説明があったわけですが、これについて、何か皆さんの方からご意見、ご質問等がございましたら。はい、●●さん。

○委員： 色々と予算をつけていただきまして誠にありがとうございます。一つだけお聞きしたいのですが、1ページの本沢川内水監視のカメラということで、つけていただいてありがとうございます。具体的にどのようなことでしょうか。補足説明をお願いします。

○総務部長： 本沢川の内水監視ということで、今回予算をつけさせていただいたわけではありますが、これにつきましては、河川情報ですね、皆さんに河川情報を知っていただくということで、ケーブルテレビでも観られるようにしていきたいというふうに思っております。

○委員： 水が増えてくると、カメラの位置がかなり高いところでないとも監視ができないということと、豊田支所でカメラの映像が観ることができるのかどうか、どこで観られるのか。そのへんも含めてお願いします。

○総務部長： もちろん豊田支所でも観られますが、ケーブルテレビで流すということで、皆さんのお宅で観られるようにしたいというふうに現在は考えております。

○委員： かなり、監視カメラの位置もかなり水量が堤防近くまでなりますので、かなり高い位置にカメラという事でしょうか。

○総務部長： 河川情報ということでございますので、効果が出る位置に設置する業者等と検討をさせていただきたいと思っております。

○委員： ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○議長： 他にございますでしょうか。はい、●●さん。

○委員： ●●です。

市民祭り等の推進事業につきまして、今年ふるさと祭りを担当させていただきます。前年並みに予算を付けていただきまして、ありがとうございます。斑尾の地という事で行うわけですが、斑尾の地が親しみやすいように、そしてまた自然の中に皆さんが入っていただけるようなお祭りを今年も計画しているので、皆さんもおいでいただきたいと思っております。

それと、もう一つですが、もみじ荘、まだらおの湯のバイオマスボイラーというのは、燃料はバイオマスというかどんな種類でしょうか。

○経済部長： バイオマスボイラーなので、薪それからペレット、木質ペレットを使いたいということです。石油のボイラーに比べると、カロリーがちょっと少

ないので温度の維持をするためのボイラーというような位置付けで設置させていただきたいと考えております。

○委員： バイオマスタウンという事で、オガクズと一体にして薪ストーブの中にも燃えるような物を2、3年前ですかね、市の庁舎の前で農協さんとタイアップして何か開発されたのですか、そんなものとは違うものなのですか。

○経済部長： 以前、市役所庁舎の所でデモンストレーションやったのは、廃オガクズを固めて一つの薪のようにしてそれを燃したのですが、あれだと1時間に1回ぐらいずつくべてやらなければならないという状況があるものですが、今回は、自動供給できるようにペレット化したものを使いたいというふうに考えております。ペレットでなく薪でもいいのですが、自動供給した方が手が掛からないということで考えております。

○委員： 後々、お金のかからないように、実を言いますと、出始めに私も興味津々で色々やってみましたが、ペレットより薪の方が自分で努力すれば集まると、ペレットはどうやっても買わなければならないと、例えば、岩手ですかねチップボイラーというのがあると思います。もっとペレットは加工しなければなりません、チップは細かくしただけで使えるような、そんなところもありますので、そこらへんの研究をまたよろしく願いしたいかと思えます。

○議長： 回答はいいですか。

○委員： 結構です。

○議長： 他に、ご意見、ご質問ありませんか。

○委員： ●●です。よろしく願いいたします。

4ページの施設整備事業のところ、ただいま説明がありました永田運動場遊具の改修ということで、上げていただいて誠にありがとうございます。この場所というのは、恐らく高野記念館の前の場所と考えてよろしいですか。

○くらしと文化部長： そうです。

○委員： ありがとうございます。

実を申し上げますと、あそこの遊具の傷みにつきまして、北永江の区長といたしまして申し出があった経過がございます。もっと早くお願いをし

たほうかよかったのかと思うのですが、雪消えと同時に子供達があそこへ行って遊ぶ、またあの保育園の小さい子供達をお持ちのお母さん方が遊ぶにつけても、遊具の壊れてるところでもってきて、これは使えないというように縛ってあったり色々してあるというお話を聞きまして、少しでも早く市長の方へお願いしていただきたいと、こういう話しがございましたので、それを胸に持っていてちょっと遅くなってしまったんですが、ここで、このように上げていただいているという事は、早急にやっていただけると考えておりますので、どうか一つ1日も早い改修をお願いしたいとこんな風に思います。お願いでございます。

○議 長： 返答はいいかな、いつごろになるのかとか。

○委 員： いくら遅くても半年後とか、そんな具合でお願いいたします。

○議 長： 他に、ご意見、ご質問はありませんか。

(5) その他

○議 長： よろしいですか。時間も迫っていますので、次に進みたいと思います。協議事項の5、その他のうち、行政改革推進委員の推薦、それから地域公共交通対策協議会の委員の推薦、それから水道事業運営審議会の委員の推薦、この件について事務局の方から説明をお願いします。

○地域振興課長： それでは、私の方から説明をさせていただきます。今、会長さんの方から話しがございましたように、各委員会から委員さんの推薦ということで、こちらの豊田地域審議会へ依頼がきております。1点目は、中野市行政改革推進委員の推薦という事で、これは1名、中野市地域公共交通対策協議会の委員の推薦という事で、こちら1名、それから中野市水道事業運営審議会の委員さんについては、こちら2名という事で、今日お集まりの審議委員さんの中から選んでいただきたいという事で、依頼がございますのでよろしくお願いいたします。

○議 長： はい、ありがとうございます。

○地域振興課長： 1点だけお願いしますが、公共交通の対策協議会の委員さんにつきましては、審議会の副会長さんにやっていただきたいというような事で予定をしておりますので、お願いをいたします。あと他の委員さんについては、皆さんの中から互選をしていただきたいということですので、よろしくお願いいたします。

○議 長： 分かりました。それでは、時間も時間ですので、こちらからお願いをして、皆様のご了解を得られればと思いますがよろしいでしょうか。

(はい)

では、そういうことでお願いします。

それではお願いをしたいのですが、行政改革推進委員に小林日出夫委員、それから地域公共交通対策協議会委員に副会長の西野三恵子委員、それから水道事業運営審議会委員には、神田一枝委員、もう一人は林紘一委員、この4名の方でご提案をさせていただきますが、いかがでしょうか。

○委員： はい。私、農業委員としては、今年1年、3年目を終えて、3年任期が終わるのですが、ということなのです。そして審議委員会はここ2年ですよ。ここ1年しかできないのだと思うのですが、そういう中途半端な終わり方ではまずいので、他の方がよろしいかと思うのですが、いかがでしょうか。検討をお願いします。

○議 長： これは全部任期は1年、2年。

○豊田支所長： 選出いただいても、事情があって離れられる場合には、再度こちらに推薦するという格好ができますので、外部ですので、そのようにさせていただきますと思います。

○議 長： 3つの任期はそれぞれどうなのか。

○地域振興課長： 私の方から説明させていただきます。

まず、行政改革推進委員ですが、こちらにつきましては1年、それから、公共交通対策の方につきましては、手元にございません。水道事業の関係につきましては、24年の3月までということになりますので、1年間ということですか。水道事業審議員さんにつきましては、委嘱の日から平成24年3月2日までとなっていますので、1年間とご理解いただければと思います。

○議 長： そういうことで、お願いしたいのですが。

○委員： はい、分かりました。

○議 長： よろしくをお願いします。

それでは、次に進めさせていただきます。協議事項については、以上で終了いたしましたので、3の協議事項を終わらせていただきたいと思います。

なお、今日は市長さん、副市長さんはじめ各部長さんお見えになっておられるので、何か皆さんの方からご意見がございましたら、お出しをいただきたいというふうに思います。

はい、●●さん。

○委員： ●●です。私、合併協議会からちょっと関わらせていただきまして、その合併協議会が、新市建設計画、まちづくり計画ですか、ここらへんをちょっとふと見たところ、総人口の想定というのがありまして、10年後の中野市の将来像を一応考えた、で人口では、その時から800人減という事で書いてありました。で、その時が47, 800人くらいだったのですかね。で、ちょっとあの色々こう色んな情報を得たところ、中野市の今の人口が、47, 330人という事で、約500人位減っているわけですね。その中、豊田地域は、これは、平成17年の3月広報とよたに載っていた数字なのですけれども、5, 016人これが現在、4, 588人という事でマイナス428人という事で、非常に中野市の現在減っている分ほとんど豊田地区が減っているよう状態になっています。

合併当時、清野村長さんが、これから高齢時代に入ってきて人口減になるのだぞ。と言われた事が今になって本当に骨身にしみて分かるような状態になってきました。ここらへん、さっき言ったように中野市の中の人口の減はこの豊田地域が生んだということではないと思うのですけれども、それだけの人口減という事で、ここらへんもし、対策を色々な事業の中でできればなあと、まあ、ふるさと回帰というのを、非常にいい政策かなあと、思って、そんな思いも皆さんの施策に反映していただきたいかなと要望でございます。よろしくお願いします。

○議長： はい。他に何かありませんでしょうか。はい、●●さん。

○委員： 今の●●さんの、ご意見にちょっと同じような質問でございます。誠にもうしわけないのだけど、今新聞紙上でいわれていますけども、限界集落ということで高齢化のそういう中です。旧豊田村の中においても三つの集落が限界集落に達しているというような話を聞くわけでありまして。そういう中で当然それに対しましては、荒廃農地がついてくるわけでありまして。荒廃農地がつくということに対しましては、非常に災害というかね、大雨が降れば水路が無くなって行って災害に繋がっていく訳であります。そういう事も含めまして、先ほどの●●さんのお話のように、限界集落に対しての対応だとか荒廃農地に対しての対応だとか、そういう災害に対しての対応という事に対しまして、一つご配慮をいただければ幸いかなと思っております。よろしくお願いします。

○議 長： はい。それでは、市長さんの方からお願いします。

○市 長： 高齢化、これは元々問題になっておりまして、日本はそのうち多分人口が7千万位まで減るのではないかとと言われております。それで、中野市の人口が今4万5千位まで減ってきておりますよね。

そして、限界集落に対する考え方ですね。今回、東日本の災害で良く分かったのですが、やはりその地域で住み慣れた場所でいたいという、そういう強い思いを皆さん持っている訳ですので、できる限り市としてもそういう対応を取っていきたいと、そういうふうに思っております。それだけは言うておきます。

4 その他

○議 長： 他に皆さんの方から。じゃあ、その他も含めてでいいですから。4番のその他も含めて。

○委 員： すみません、私ここにくるつもりないのでちょっと色々質問したいことがあったので、お願いしたいと思いますが、教育委員会の関係なのですけれども、私永田小学校の評議員をしまして、3月だったかな教頭先生や校長先生とお話しをする機会があった時に、校長先生が子供達のアンケートを取ったら、とにかく遊具が少ないと言われて、この遊具って何ですかと聞いたら、校庭にある本当にブランコと滑り台とジャングルジムがあったっけかな。滑り台がないのですよっておっしゃって。あっそうなのですか、と私も気がつかなくてちょっとうちの息子に聞いたら、俺の時からなかったよ、っていう話しなんです。滑り台うんぬんじゃないのですが、子供達を外でこう十分遊ばせるための施設って他の学校どうかなと思って、私たまたま実家が間山なので日野小学校ちょっと覗いてみたんです。そして外に教頭先生いらして、こちらはどうかと聞いたら、日野小学校も遊具がないのですよと、外でゆっくり子供達を遊ばせたくても、やっぱりそのただ広い校庭はあっても、もうちょっと遊具があったら嬉しいんですけどっていうお話しがあったので、他の小学校がどうか私も調べたわけじゃないんですが、そういう現場の方のね、これから小中学校の統廃合も色々考える中で、施設の充実というのは難しいかもしれませんが、何か子供達を外で楽々遊ばせられる環境というものを、ちょっと頭に置いていただけたらいいかなと思って、いまお願いしているところです。お願いいたします。以上です。

○議 長： その他も含めて他に皆さんの方から何かございましたら、今までの件でもいいですし、その他の件でも結構です。事務局の方から何かありますか。

○地域振興課長： それでは、事務局からその他のお願いをいたしますが、今日は大変慎重審議ありがとうございました。これからの地域審議会でございますが、一応今のところ例年に習って年3回ぐらい審議会をやらせていただいたり、その審議会の中でも研修会も含めたような事の計画をちょっといま考えております。細かな日程的には、今のところはっきり申しあげられませんが、また審議委員さん是非そんな事で、今年1年間よろしくお願いたします。以上でございます。

○議長： 以上で、協議事項が全部終了しましたので、皆様の方でなければ、これで協議を閉じたいと思っておりますがよろしいですか。

大変ご協力ありがとうございました。慣れない進行で大変ご迷惑をおかけしましたが皆様のご協力が無事協議が終了しました。

ここで議長を降ろさせていただきます。大変ありがとうございました。

5 閉 会 【豊田支所長】